

角田「第九」

毎年恒例の「角田：ベートーヴェン第九『喜びのうた』を歌おう会」主催の「第九」演奏会も、今回で晴れて20回目を迎えることになりました。

この演奏会が始まったのは1993年のこと、当初は年末ではなく3月頃に、角田市総合体育館で行っていました。1997年の第5回公演から、それまでのオーケストラに替わってニューフィルが参加し、今回までずっと続くことになりました。



ほとんどの公演で指揮をしている佐藤寿一さん



音楽の道へ進んだ人もいる、子ども合唱団

2001年からは、開催時期が12月に変更になりました（その年には、第9回と第10回の2回の公演がありました）。さらに、「第10回」という節目には、それまで第4楽章だけを演奏していた「第九」を、全楽章演奏するようになりました。

2002年の第11回公演からは、会場が体育館から大河原町の「えずこホール」に移り、演奏の環境は大幅に改善されて、今日に至っています。



ロビーには、第1回公演からのチラシとプログラムが展示されていました。



「第九」の前日リハーサル(Photo by S. Takahashi)



「サウンド・オブ・ミュージック」の本番(Photo by Y. Masuyama)



「第九」に先駆けて演奏された「サウンド・オブ・ミュージック」(指揮：高橋康博さん)では、子ども合唱団の他に2人のソリストと修道女役の6人のお姉さんが加わり、楽しい演出で会場を沸かせていました。

毎回楽しみなお弁当は、炊き込みご飯にずんだ餅という、意表をつくもの、米どころならではの美味しいご飯でした。